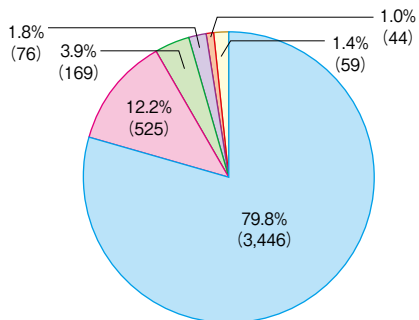


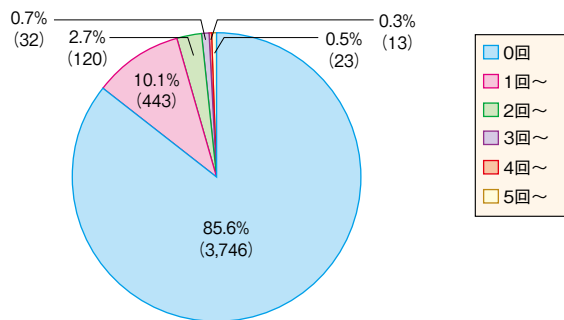
### 3) 腹膜透析

#### (7) 出口部感染、腹膜炎 (図表45)

1患者あたり出口部感染の年間発症率



1患者あたり腹膜炎の年間発症率



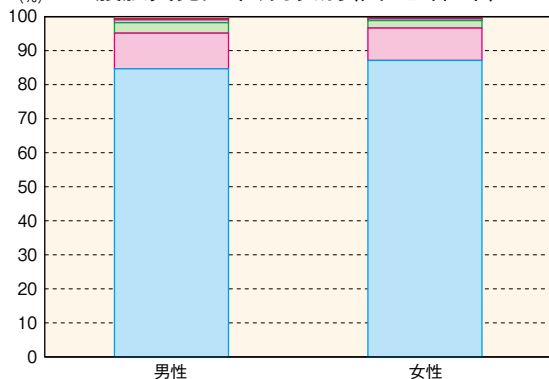
患者数	0回	1回	2回	3回	4回	5回	合計	不明・記載なし	総計	平均
患者数	3,446	525	169	76	44	59	4,319	2,785	7,104	0.40
(%)	(79.8)	(12.2)	(3.9)	(1.8)	(1.0)	(1.4)	(100.0)			

個々の患者の出口部感染発症率 (回/1患者・年) は、1.0未満の数値が0となるため、「0」と表示しています。

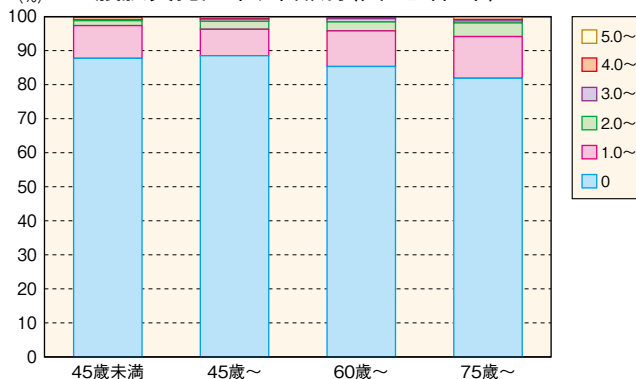
患者数	0回	1回	2回	3回	4回	5回	合計	不明・記載なし	総計	平均
患者数	3,746	443	120	32	13	23	4,377	2,727	7,104	0.24
(%)	(85.6)	(10.1)	(2.7)	(0.7)	(0.3)	(0.5)	(100.0)			

個々の患者の腹膜炎発症率 (回/1患者・年) は、1.0未満の数値が0となるため、「0」と表示しています。

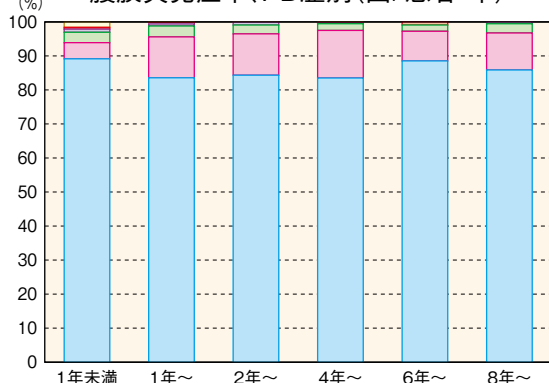
腹膜炎発症率、男女別(回/患者・年)



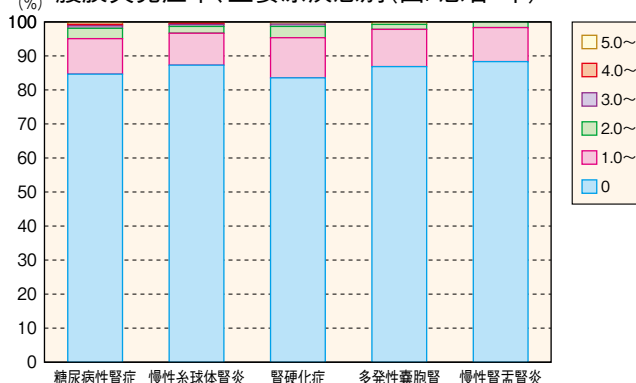
腹膜炎発症率、年齢別(回/患者・年)



腹膜炎発症率、PD歴別(回/患者・年)



腹膜炎発症率、主要原疾患別(回/患者・年)



集計対象：腹膜透析単独患者

#### 解説

1患者、1年間あたりの出口部感染および腹膜炎の発症率の分布を図に示す。発症率 = (2015年中の出口部感染もしくは腹膜炎の発症回数) ÷ (2015年中のPD実施月数/12) の式で計算を行った。

回答が得られた患者の20.2%に出口部感染を認め、腹膜炎発症は14.4%にみられた。

腹膜炎発症率を男女別、年齢層別に見たところ、男性で発症率がやや高く、年齢層が高くなるにつれて、発症率が高くなる傾向を認めた。また、腹膜炎の発症とPD歴には一定の傾向を認めなかった。主要原疾患別の腹膜炎発症率をみたところ、腎硬化症や糖尿病性腎症において腹膜炎の発症率が高い傾向を認めた。